

第5期 門真市エコオフィス推進計画実績報告

門真市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】

2018年度～2022年度実績

2024年3月

門 真 市

目 次

(1) 計画の概要	1
(2) 計画の対象範囲	1
(3) 計画の目標達成状況	1
(4) 「温室効果ガス総排出量」の推移	3
(5) 「温室効果ガス総排出量」の分析結果	4
(6) 計画の取組実施状況	8

第5期 門真市エコオフィス推進計画の実績報告

(1) 計画の概要

名称	第5期 門真市エコオフィス推進計画
策定年月	2019年3月
計画期間	2018年度～2022年度
基準年度	2017年度
目標年度	2022年度
数値目標	目標年度における温室効果ガス総排出量を 基準年度と比べ、10%以上削減する

(2) 計画の対象範囲

計画の対象範囲は、本市の全ての事務及び事業（指定管理施設を含む）とします。
ただし、一部事務組合の事業については対象外とします。

(3) 計画の目標達成状況

計画では、温室効果ガス総排出量を「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令に基づく算出方法」と「取組成果を把握するための算出方法」の2つ評価軸で算出しています。

【地球温暖化対策の推進に関する法律施行令に基づく算出方法（法定指標）】

法令で定められている当該年度の排出係数を用いて算出する方法

【取組成果を把握するための算出方法（取組指標）】

取組成果を把握するために、基準年度の排出係数を用いて算出する方法

基準年度を2017年度とし、温室効果ガス総排出量を2018年度から2022年度の期間に10%以上削減することを目標としていましたが、2022年度の温室効果ガス総排出量は、法定指標では22,717t-CO₂であり、基準年度から27.9%削減できました。取組指標でも24,685t-CO₂であり、基準年度から21.6%削減でき、両指標において、10%以上の削減目標を達成することができました。

評価指標	基準年度 (2017年度)	目標	削減 目標率	実績 (2022年度)	削減率
法定	31,502t-CO ₂	28,352t-CO ₂	10%	22,717t-CO ₂	27.9%
取組	31,502t-CO ₂	28,352t-CO ₂	10%	24,685t-CO ₂	21.6%

(※計画策定時には、基準年度の排出量を28,813t-CO₂、目標排出量を25,932t-CO₂としていましたが、①一般廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素の排出量に合成繊維由来の数値を算入していなかったこと、②LPGの使用量に単位の誤りがあったことから、削減目標率は変更せずに、基準年度の排出量及び目標排出量を見直しました。)

また、エネルギー等の種類ごとにも削減目標率を定めていました。達成状況は以下の表のとおりです。

エネルギー等の種類	基準年度 (2017年度)	目標	削減 目標率	実績 (2022年度)	削減率
ガソリン	29,774 l	26,796 l	10%	24,153 l	19%
灯油	28,368 l	27,800 l	2%	2,412 l	91%
軽油	28,241 l	27,676 l	2%	30,380 l	-8%
A重油	200 l	200 l	—	190 l	5%
LPG	52,638 kg	51,585 kg	2%	46,293 kg	12%
CNG	17,777 m ³	17,421 m ³	2%	0 m ³	100%
都市ガス	712,278 m ³	698,032 m ³	2%	604,015 m ³	15%
電気	23,735,136 kWh	21,836,288 kWh	8%	20,893,036 kWh	12%
一般廃棄物 焼却量	40,175 t	38,568 t	4%	35,681 t	11%
プラスチック ごみ焼却量	5,278 t	4,677 t	11%	4,278 t	19%
し尿処理量	9,374 m ³	3,665 m ³	60%	0 m ³	100%

軽油以外の全てのエネルギー等で削減目標率を達成することができました。

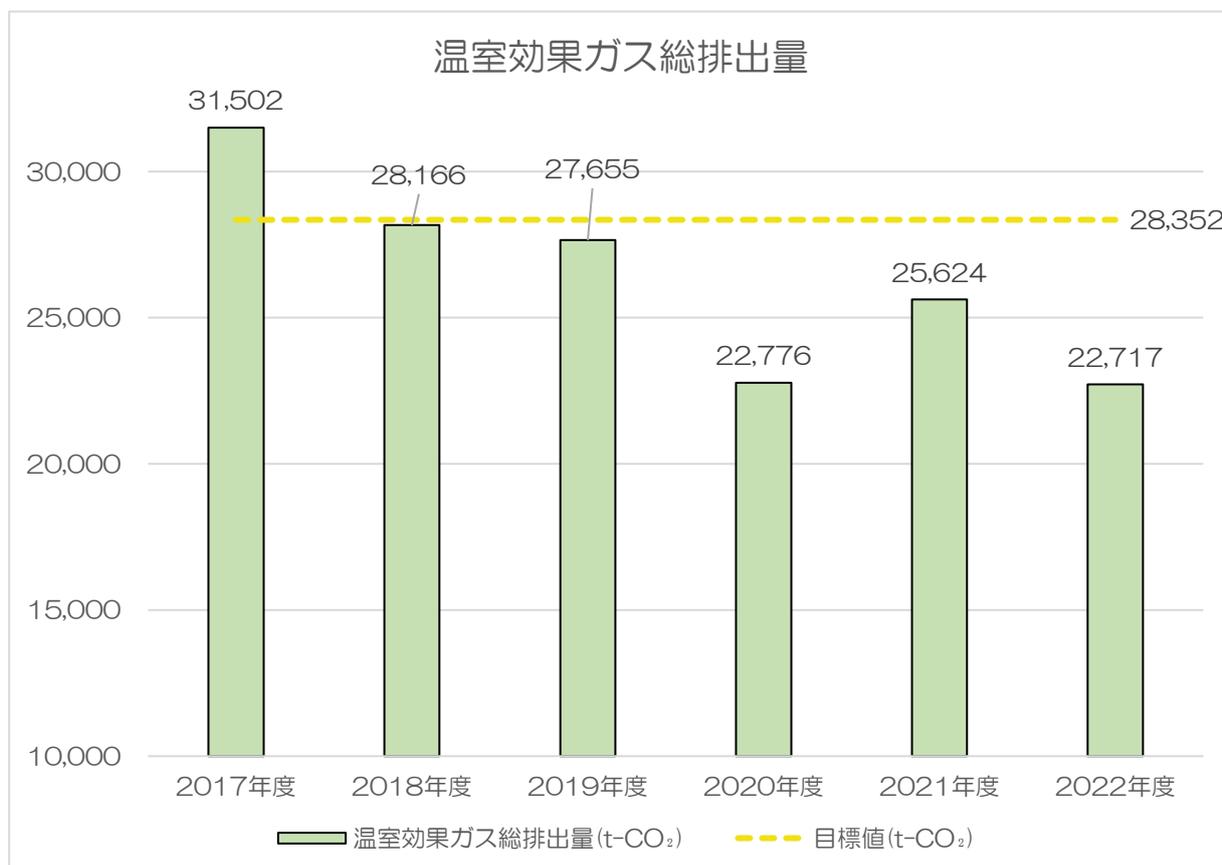
CNGについては、ごみ収集車とバキューム車を使用しなくなったことから、0m³となりました。

また、し尿処理量については、2019年度に浄化センターが廃止したことに伴い、四條畷市立環境センターへし尿を運搬処理していることから、本市での処理量は0m³となりました。

(4)「温室効果ガス総排出量」の推移

新型コロナウイルス感染症の影響で、小中学校の電気使用量が減少したことや、事業系ごみが減少したことを受け、2020年度は大幅に温室効果ガス総排出量を削減しました。その後も一般廃棄物の焼却量の増減による影響を大きく受けています。

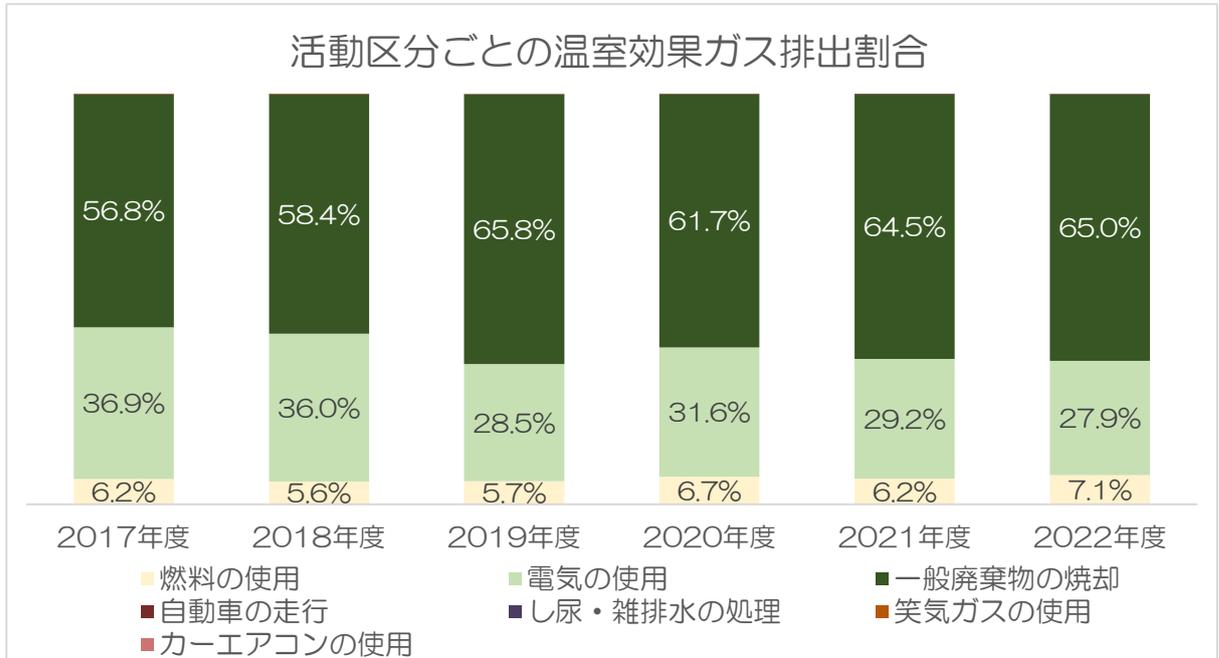
年度	2017年度 (基準年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (目標年度)
排出量 (t-CO ₂)	31,502	28,166	27,655	22,776	25,624	22,717
増減率	—	-10.6%	-12.2%	-27.7%	-18.7%	-27.9%



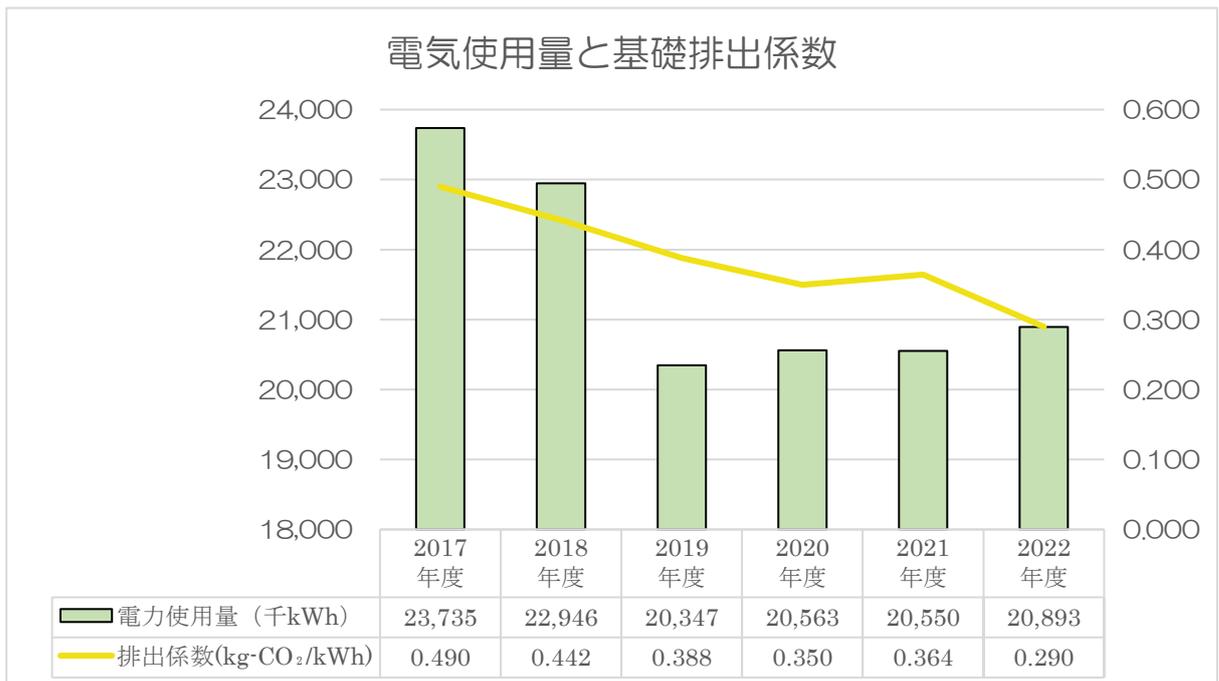
(5)「温室効果ガス総排出量」の分析結果

1) 総論

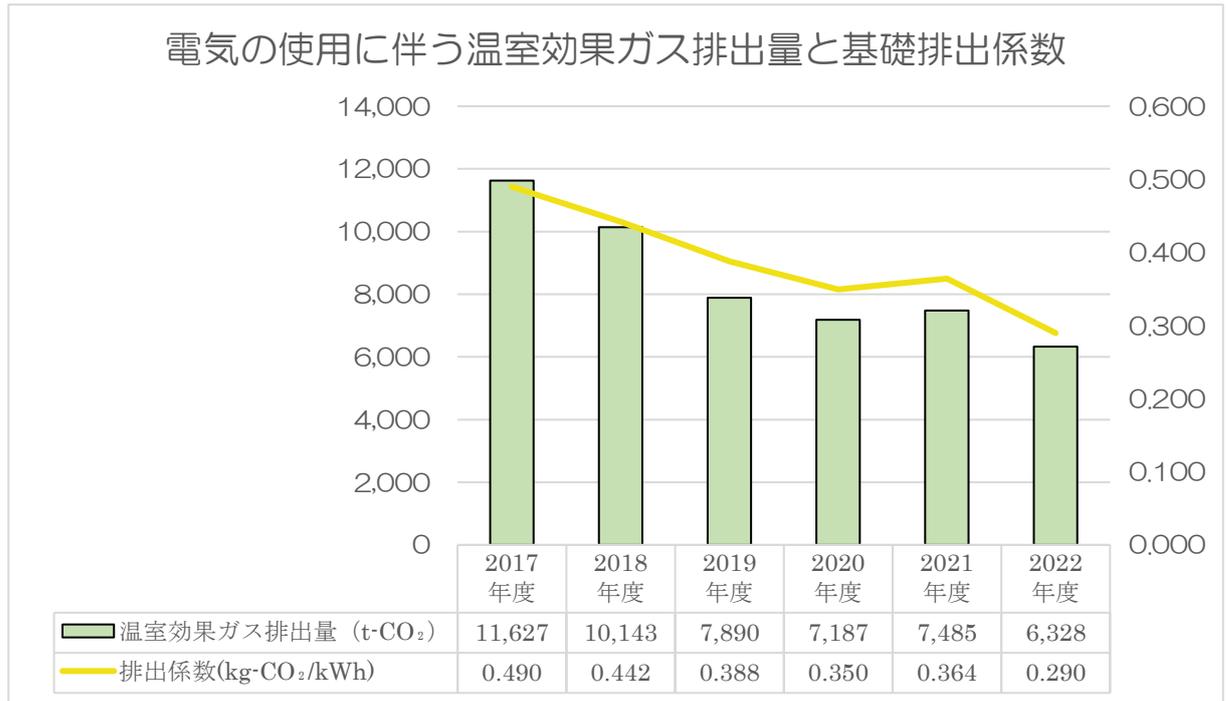
本市において、もっとも温室効果ガスを排出している活動は、一般廃棄物の焼却であり、いずれの年度においても排出量の過半数を占めています。



続いて、排出量の多い活動は、電気の使用であり、基準年度においては、36.9%を占めています。しかし、原子力発電所の再稼働や再生可能エネルギーの普及等により、年々電気の基礎排出係数が小さくなっているため、目標年度では、27.9%となり、排出量も基準年度の54%程度となっています。



電気の使用に伴う温室効果ガス排出量と基礎排出係数



燃料の使用から出る排出量の割合は、5%～7%台で推移しており、計画期間を通して大きな変化はありませんでした。

また、本市において使用している燃料の種類は、「ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPG、CNG、都市ガス」の7種であり、そのうち、もっとも多く温室効果ガスを排出しているものは都市ガスで、8割を占めています。

以上を踏まえたうえで、以下の表より、本市では、「燃料の使用、電気の使用、一般廃棄物の焼却」の3種類の活動からほとんどの温室効果ガスを排出していることになります。

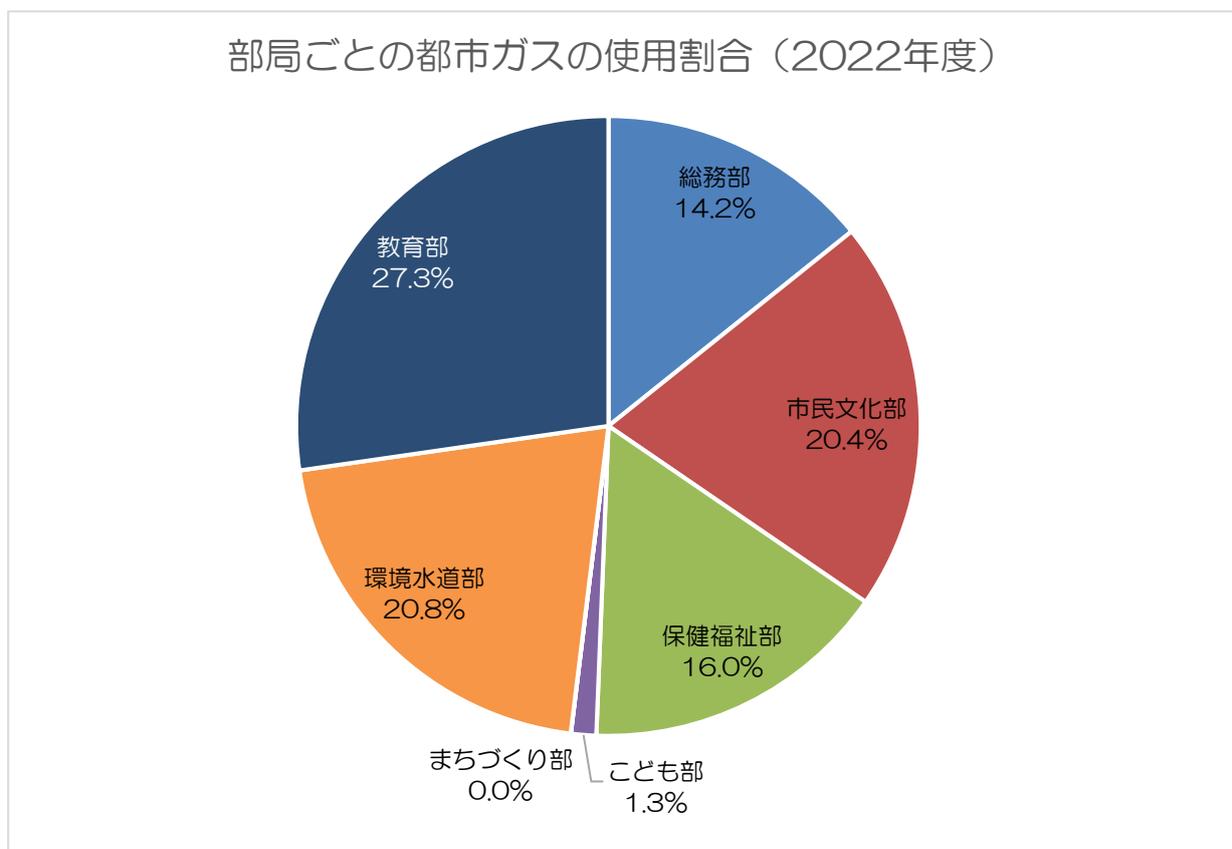
活動区分 (t-CO ₂)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
燃料の使用	1,953	1,566	1,564	1,529	1,596	1,616
電気の使用	11,627	10,143	7,890	7,187	7,485	6,328
一般廃棄物の焼却	17,904	16,441	18,196	14,057	16,539	14,767
自動車の走行	5	5	5	2	2	5
し尿・雑排水の処理	12	10	0	0	0	0
笑気ガスの使用	0	1	0	0	0	0
カーエアコンの使用	1	1	1	1	2	1
合計	31,502	28,166	27,655	22,776	25,624	22,717

(※活動区分は地球温暖化対策推進法施行令第3条の各号に基づく区分です。燃料の使用の中には、ガス機関又はガソリン機関における燃料の使用に伴うもの、家庭用機器における燃料の使用に伴うものから排出される温室効果ガスを含みます。)

温室効果ガスを排出する主要な項目として、「燃料の使用、電気の使用、一般廃棄物の焼却」を挙げましたが、ここでは、燃料の使用の大半を占めている都市ガスの使用と電気の使用について、部局ごとの排出割合を示します。

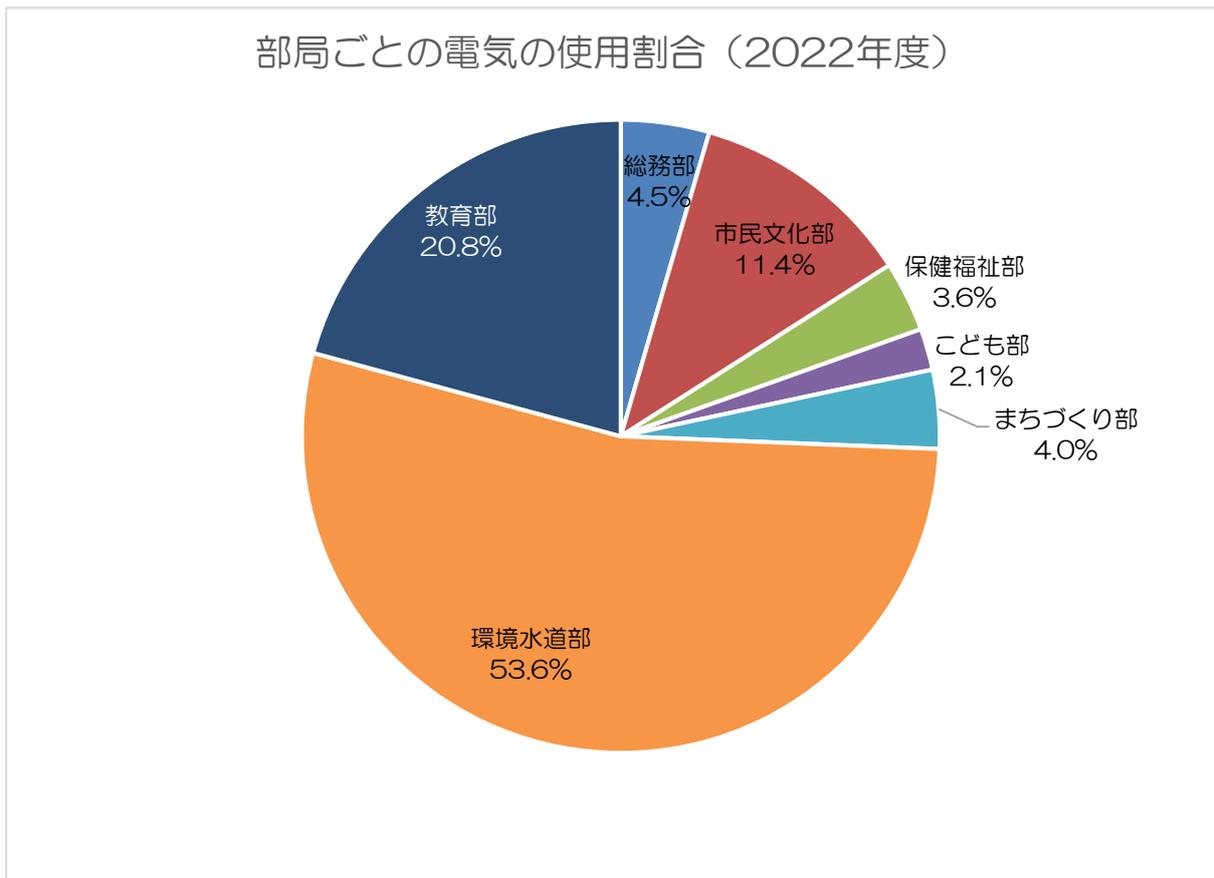
2) 都市ガス

目標年度の2022年度において、もっとも都市ガスを使用している部局は、教育部で27.3%です。小中学校の空調や給食室において使用しています。2番目に多いのは環境水道部で20.8%です。クリーンセンターの焼却炉で使用しています。3番目に多いのは市民文化部で20.4%です。ルミエールホール、南部市民センター、図書館、総合体育館等の空調において主に使用しています。



3) 電気

目標年度の2022年度において、もっとも電気を使用している部局は、環境水道部で53.6%です。クリーンセンターの焼却炉で使用しています。2番目に多いのは教育部で20.8%です。小中学校の空調や照明で使用しています。3番目に多いのは市民文化部で11.4%です。ルミエールホール、総合体育館、市民プラザ、図書館、南部市民センター等の照明において主に使用しています。

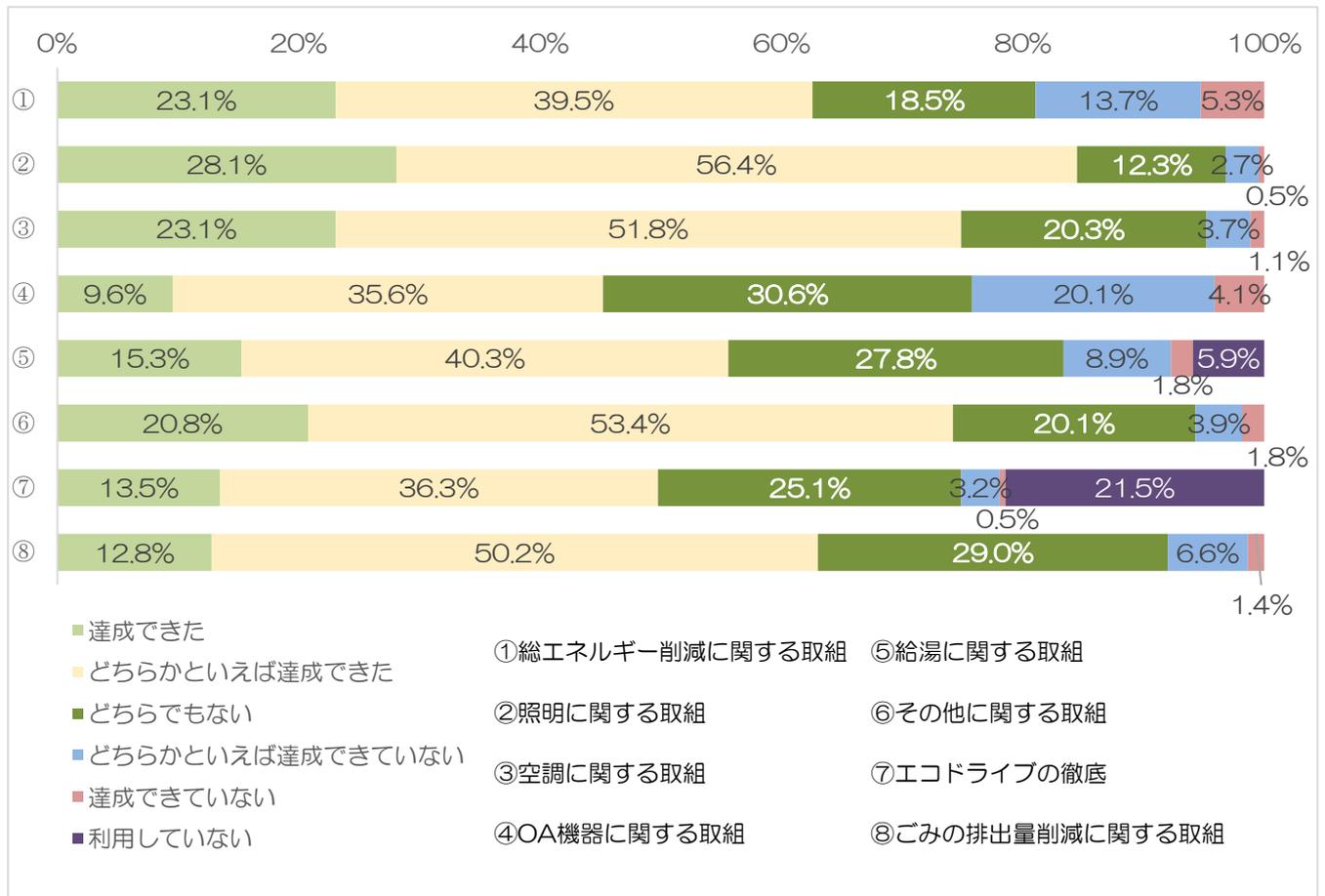


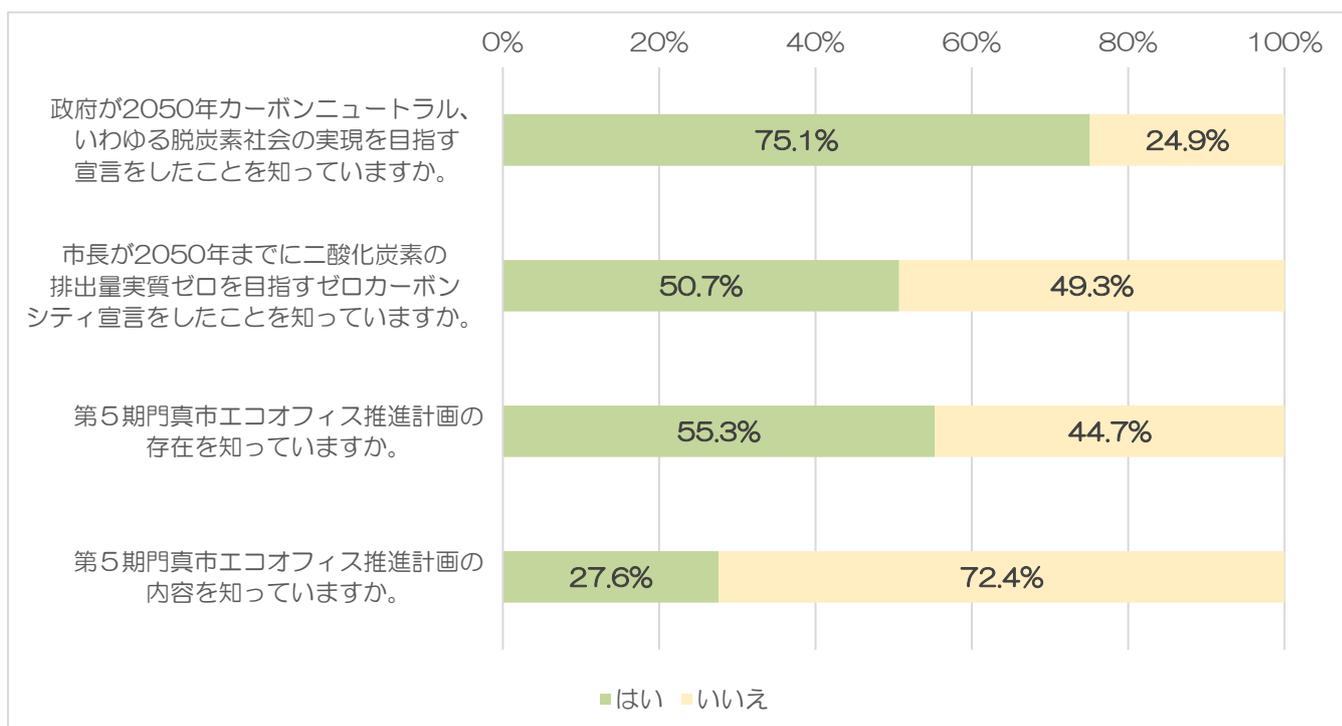
(6) 計画の取組実施状況

計画では、温室効果ガス総排出量の削減のために、基本目標1「職員一人ひとりによるエコオフィス活動の推進」、基本目標2「省エネルギー化につながる設備・機器等の導入促進」の2つの目標を定めました。

まず、職員のエコオフィス活動等への取組状況を調査するために、庁内アンケートを実施しました。有効回答数は438名で、結果は以下のグラフのとおりです。照明や空調に関する取組は、70%以上の職員が達成できた、どちらかといえば達成できたと回答している一方で、OA機器に関する取組を行っている職員は約45%でした。

また、市長がゼロカーボンシティ宣言をしたことを知っている職員が約50%、計画の内容まで知っている職員が約27%にとどまっており、職員の地球温暖化対策や本計画に対する認識不足が課題であることがわかりました。





基本目標2「省エネルギー化につながる設備・機器等の導入促進」では、エコカーの導入や再生可能エネルギー等の活用推進を目標に掲げていました。

現在、低燃費車のほかに3台のハイブリッド自動車を導入しています。また、再生可能エネルギーについては、以下の施設で導入しています。

【本市再生可能エネルギー導入施設】

施設名／再エネ	太陽光発電	風力発電	太陽熱	地中熱
リサイクルプラザ	○		○	
総合体育館	○		○	○
保健福祉センター	○			
門真はすはな中学校	○	○		
門真市民プラザ	○			